

島根県の地震

令和2（2020）年1月

・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

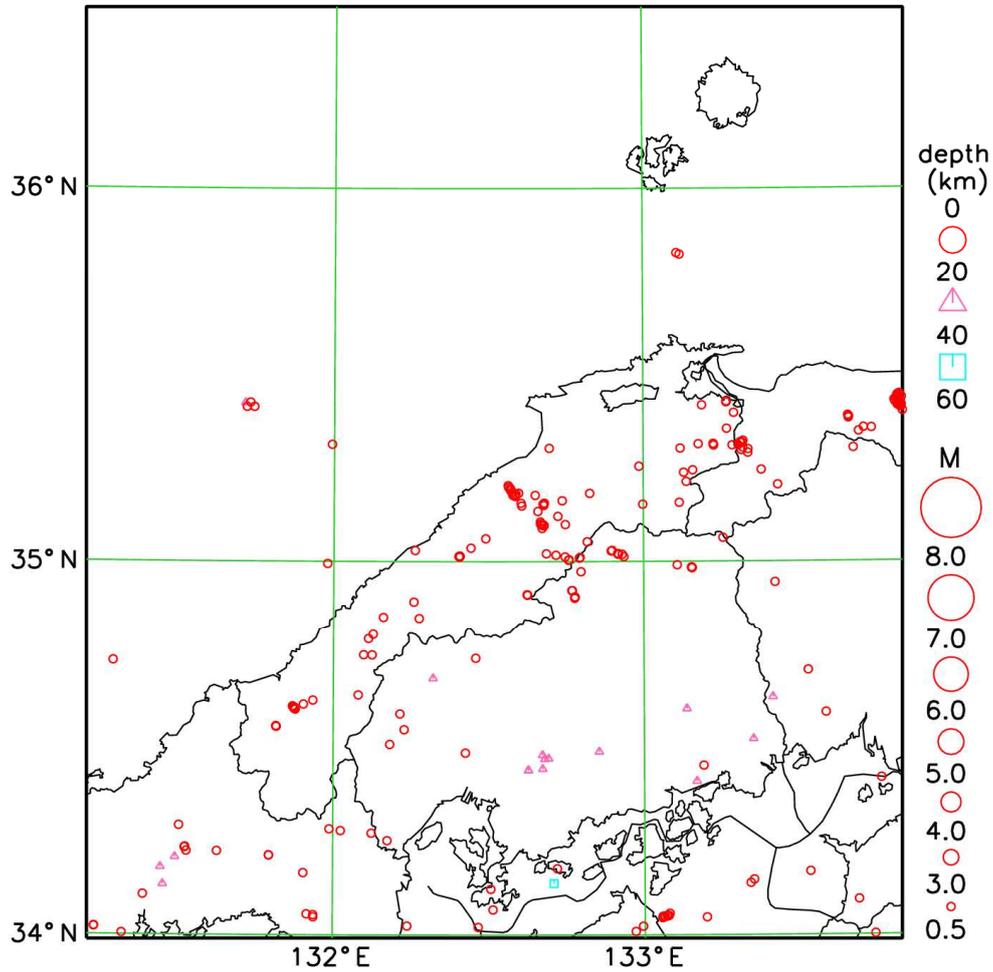
・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用しています。

松江地方気象台

島根県およびその周辺地域の地震活動 2020年1月1日～31日

2020 01 01 00:00 -- 2020 01 31 24:00

N=253

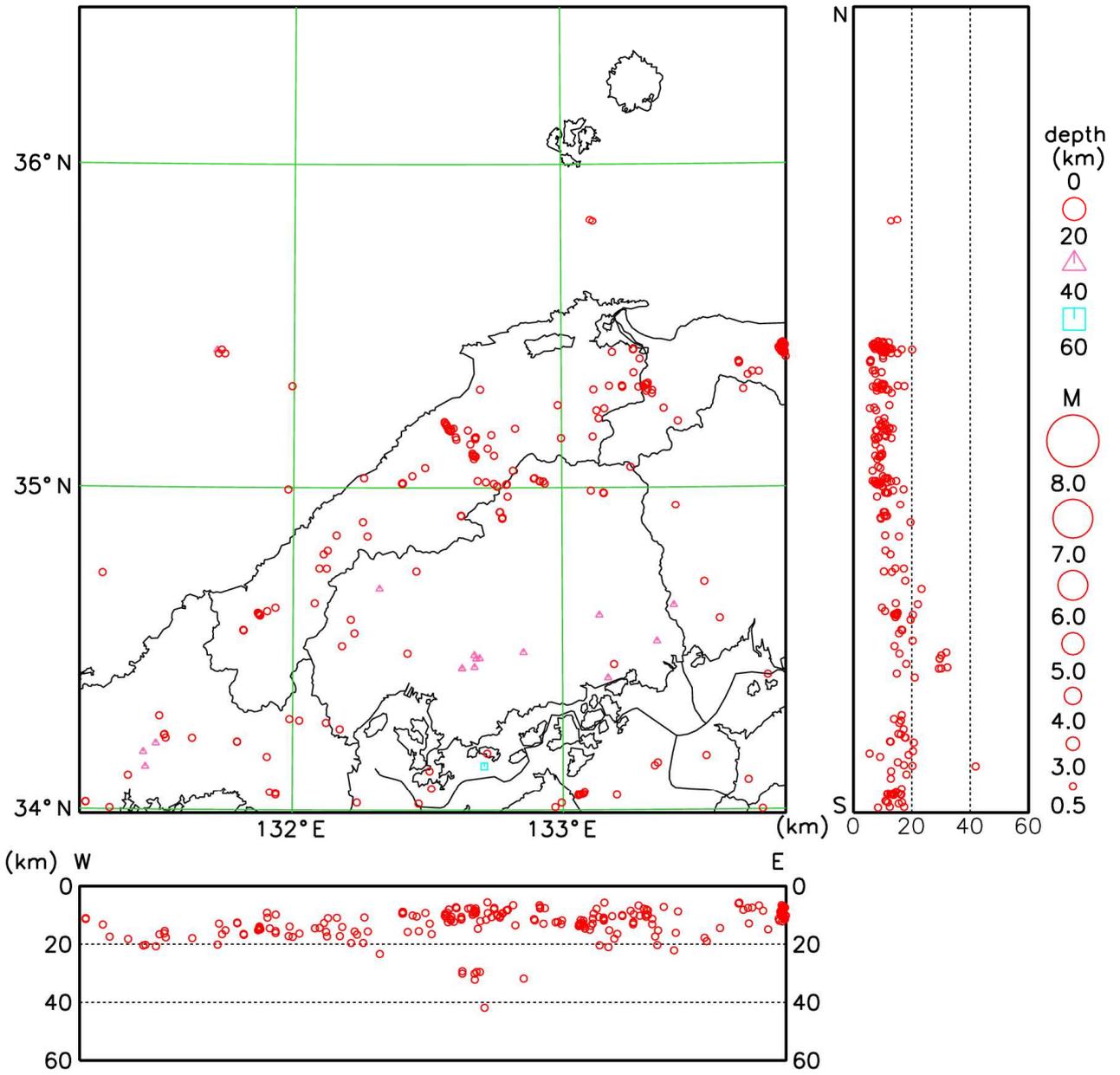


[概況]

今期間、M0.5以上を観測した地震は253回（昨年12月は287回）でした。
また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、ありませんでした。

[断面図]

2020 01 01 00:00 -- 2020 01 31 24:00



昭和の南海トラフ地震を振り返る

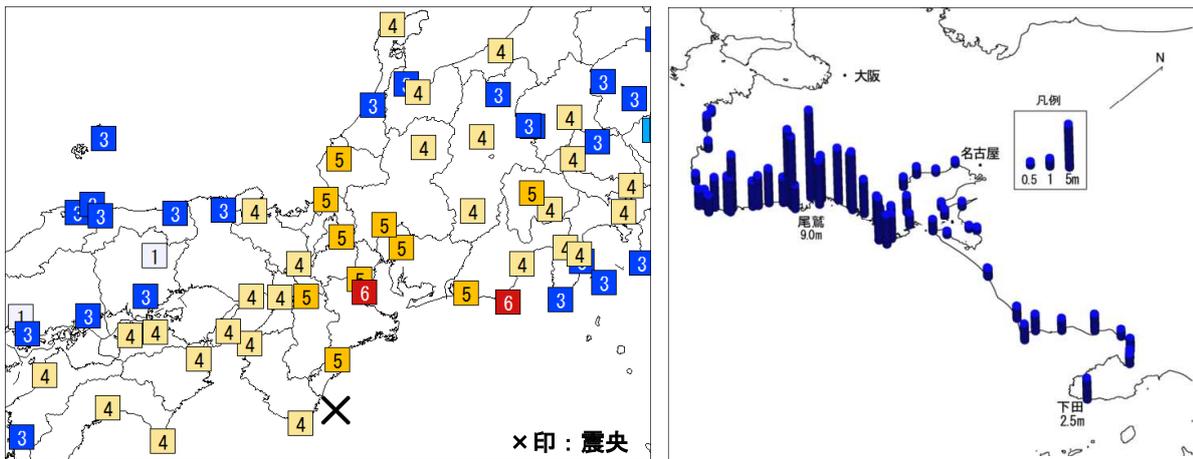
昭和 19 年（1944 年）12 月 7 日に、三重県南東沖を震源とするマグニチュード 7.9 の地震が発生しました。東海地方を中心に全体で死者・行方不明者 1,183 人、住家全壊 18,143 棟の大きな被害が生じたため、この地震は昭和東南海地震と命名されました。

昭和東南海地震の 2 年後、昭和 21 年（1946 年）12 月 21 日に、和歌山県南方沖を震源とするマグニチュード 8.0 の地震が発生しました。被害は中部地方から九州にかけて広範囲に及び、全体で死者・行方不明者は 1,443 人、住家全壊は 9,070 棟に上ったため、この地震は昭和南海地震と命名されました。特に近畿地方から四国地方の太平洋沿岸地域は津波による被害が甚大で、この地震による津波は日本から遠く離れたハワイやカリフォルニアにも達していました。この昭和南海地震により島根県でも、死者 9 人、負傷者 16 人、住家全壊 71 棟、住家半壊 161 棟の被害がありました。

これら 2 つの地震は南海トラフ沿いで発生した大規模地震とされています。

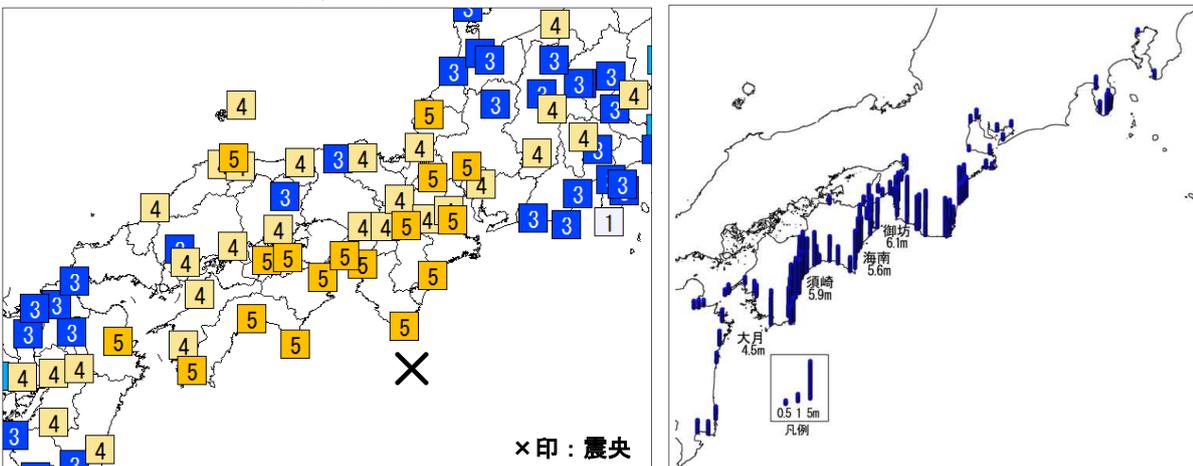
※被害はいずれも「日本被害地震総覧」による。

昭和 19 年（1944 年）12 月 7 日 昭和東南海地震
震度分布図 津波の高さ



地震調査委員会資料より

昭和 21 年（1946 年）12 月 21 日 昭和南海地震
震度分布図 津波の高さ



地震調査委員会資料より

昭和南海地震（1946年）による被害

<和歌山県>



和歌山県ホームページ「南海道地震から50年」（和歌山県）より

<高知県>



高知県ホームページより

<徳島県>



徳島地方気象台ホームページより

地震調査研究推進本部地震調査委員会の長期評価によると、南海トラフ沿いの地域において、マグニチュード8～9クラスの地震が今後30年以内に発生する確率は、70～80%（令和2年1月1日現在）とされており、大規模地震発生の切迫性が指摘されています。

南海トラフで発生した大規模地震としては、前述の南海トラフ東側で発生した昭和東南海地震、その約2年後に南海トラフ西側で発生した昭和南海地震の他、1854年に南海トラフ東側で大規模地震が発生し、約32時間後に南海トラフ西側で大規模地震が発生した事例が知られています。

南海トラフでの大規模地震の発生形態は多様で、次に発生する南海トラフでの大規模

地震が、どのような形態となるかは不明です。

過去の地震を振り返り、災害から得た教訓を学ぶことにより、突発的に発生する地震に備えておくことが大切です。

<南海トラフ地震とは>

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/nteq.html>

<過去の地震・津波災害>

(日本付近で発生した主な被害地震 (平成8年以降))

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/higai/higai1996-new.html>

(明治以降 1995 年までに、我が国で 100 人以上の死者・行方不明者を出した地震・津波)

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/higai/higai-1995.html>